

学校法人順正学園  
吉備国際大学短期大学部  
機関別評価結果

平成 27 年 3 月 12 日  
一般財団法人短期大学基準協会

## 吉備国際大学短期大学部の概要

設置者	学校法人 順正学園
理事長	加計 美也子
学 長	松本 皓
A L O	池本 貞子
開設年月日	昭和 42 年 4 月 1 日
所在地	岡山県高梁市伊賀町 8

### 設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
保健科	総合美容専攻	60
	合計	60

### 専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

専攻科	専攻	入学定員
専攻科（通信教育）	メディカルビューディー専攻	40
	合計	40

### 通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

## 機関別評価結果

吉備国際大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 27 年 3 月 12 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 25 年 7 月 4 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

建学の理念は、短期大学創設以来、「学生一人ひとりの持つ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」であり、学生便覧、大学案内、学内掲示、各種配布資料及びウェブサイトを通じて学内外に表明されている。保健科総合美容専攻及びデンタルビューティー専攻は、それぞれ教育目的・目標及び学習成果を明示し、吉備国際大学教育開発・研究推進中核センターの会議等で点検・評価を行っている。教員は学習成果の獲得に向けて PDCA サイクルの手法を導入し、改善点を次年度の講義計画やシラバス作成に反映させ、教育の質保証に努めている。なお、デンタルビューティー専攻は平成 24 年度に学生募集停止した。

短期大学名称変更に伴い、「吉備国際大学短期大学部自己点検・自己評価委員会規程」を定めており、その際、組織の一部統合が行われ、同委員会は、吉備国際大学教育開発・研究推進中核センターの下部組織として活動を推進している。

保健科各専攻課程は学位授与の方針を明確に定めている。卒業の要件、成績評価の基準及び資格取得の要件等を明示し、学生便覧等により学内外に公表されている。

教育課程編成・実施の方針は学位授与の方針に基づき、学習成果に対応した授業科目を体系的に編成している。教育課程の見直しは、自己点検・自己評価委員会や吉備国際大学教育開発・研究推進中核センターの会議で行い、改善に取り組んでいる。学生募集要項に入学者受け入れの方針を明示し、入学前の学習成果の把握・評価に努めている。学習成果の査定は明確であり、具体的で達成可能であり、実質的な価値を有している。

学習成果の獲得に向けて、教員は FD 委員会を中心に授業改善活動 (FD) の取り組みを行っている。学生による授業評価アンケートの結果等により、学習成果の状況を把握し、授業改善に努めている。事務職員は、学習成果の獲得に向けて支援を行い、SD 活動を行っている。

学科・専攻課程の特性に配慮した支援体制により学習支援が行われ、チューター制によってきめ細かな個人指導等が実施され、学習成果の獲得に向けて取り組んでいる。生活支援については、スチューデントサポートセンター及び順正学園健康管理センターが整備さ

れ、独自の奨学金制度を用意して、組織的な支援体制が整えられている。就職支援については、キャリアサポートセンターを設置して、「短大キャリアサポート委員会」を組織し就職支援を行っている。また、就職率も高く成果をあげている。

保健科各専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて教員組織が整備され、短期大学設置基準を充足している。専任教員は、教育課程編成・実施の方針に基づいて教育研究活動を行い、教育研究の環境は整備されている。事務職員は、外部研修やSD活動に参加し、授業環境改善や学生の実態把握等の学習支援が行われている。教職員の就業に関する諸規程を整備し、教職員への周知が図られ、適正に運用されている。

校地、校舎の面積は、短期大学設置基準を充足しており、施設設備の維持管理に関する諸規程を整備し、適切に運用されている。災害対策規程を整備し災害対応マニュアルを作成して、防災対策を実施している。また、「エコアクション 21 活動」、新環境マネジメントシステムにおけるエコ活動に取り組んでいる。

近年入学者数の減少にともない、帰属収支が支出超過となる状況が続いているなどの事態を踏まえ、平成 27 年度の短期大学部の学生募集を停止することが決定している。学校法人全体では、在学生の教育に係る支出について問題なく執行できる財政状況である。

理事長は、建学の理念及び教育目的を十分に理解し、教育に深い見識を有しており、理事会での提案説明を自ら行うなどリーダーシップを発揮している。

学長は、「吉備国際大学短期大学部学長選任規程」に基づき選考され、大学経営に見識を有しており、建学の理念に基づいて教育研究活動の基本方針を立て事業計画に反映させている。

監事は、理事会、評議員会への出席のほか学園協議会にも出席し、公認会計士と連携を取り意見交換を行い、監査報告を行っている。評議員会は、理事長の諮問機関として運営されている。

学校法人の計算書類及び財産目録は経営状況及び財政状態を適正に表示しており、教育情報及び財務情報はウェブサイトで、公表されている。

## 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

### (1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

#### 基準 I 建学の精神と教育の効果

[テーマ B 教育の効果]

- 夏季休暇を利用して、教育後援会（順正学園の教職員及び保護者で構成された組織）

の地区別懇談会を実施し、保護者に学修の成果の状況を説明し理解を得るための取り組みを行っている。

## 基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 学生の学習や生活に関するニーズを把握するために、理事長や学長と学生との意見交換会を定期的に行い、学生の要望を直接聴取するよう努めている。

## 基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 年度末に学園すべての設置校の教員が一堂に会して開催される順正学園学術交流コンファレンスは、個々の教員の教育研究活動を公開し表彰することにより、より一層の教育研究活動を促進している。

## 基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ A 理事長のリーダーシップ]

- 理事長は年度はじめに行われるキックオフミーティング等の機会を積極的に活用して学園の運営方針等を教職員に向けて発信し周知に努めている。

### (2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

## 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ C 自己点検・評価]

- 当該短期大学の名称変更とともに組織改編が行われ、自己点検・評価活動が停滞していた。学習成果の獲得を保証するため、教職員の活動と短期大学の教学体制を継続して点検し、必要に応じて改善されたい。

## 基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 当該短期大学の基盤が高梁キャンパスにあるため、主に岡山駅前キャンパスで学ぶ学生が支援を受ける機会が制約されている。また、就職支援の主体も高梁キャンパスに置かれて週に1度職員が岡山駅前キャンパスに出向いて指導している。指定曜日に学園バスを運行しているが、岡山駅前キャンパスで学ぶ学生のための学生支援及び就職支援体制を強化されたい。

## 基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 専任教員の個人研究室は高梁キャンパスにあるが、ほとんどの授業が岡山駅前キャンパスで行われているため、岡山駅前キャンパスの共同の教員室が研究室の代わりとなっているので、教育研究環境の整備が望まれる。

**(3) 早急に改善を要すると判断される事項**

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

### 3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

#### 各基準の評価

##### 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

建学の理念は、短期大学創設以来、「学生一人ひとりの持つ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」であり、学生便覧、大学案内、学内掲示、各種配布資料及びウェブサイトを通じて学内外に表明され、当該学園及び短期大学運営の礎となっている。学生及び教職員に対し、建学の理念を共有するために、各種行事等で周知徹底を図っている。

教育目的は、建学の理念に基づき、学則に明示されている。この教育目的を達成するために、保健科各専攻課程は、それぞれ教育目的・目標を設定し、学則及び学生便覧に明示し、学内外に表明している。

学習成果は、保健科各専攻課程の教育目標を受けた学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針として、学生便覧やウェブサイトに掲載し、学生には入学時及び各学期のオリエンテーション、履修登録時等に繰り返し説明し周知を図っている。保護者には入学時や毎年夏季休暇中に各地で開催する保護者を対象とした教育後援会の地区別懇談会で説明している。学習成果の査定については、単位修得状況だけでなく、学生による授業評価や教員による個別指導状況、資格取得状況等を検証し判定するため量的・質的に測定する仕組みを有している。また、吉備国際大学教育開発・研究推進中核センターの会議を定期的で開催し、問題の把握と改善のための方策を検討している。

学校教育法、私立学校法、短期大学設置基準の他、関係省庁所管の法令等を遵守することを教育実施の基本とし、これら関係法令の変更時には適宜必要な措置を講じて法令遵守に努めている。教員は教育実践の結果や授業評価の結果から問題点を発見・分析し、教育内容の見直し・改善計画を立て、学習成果の獲得に向けてPDCAサイクルの手法を導入し、改善点を次年度の講義計画やシラバス作成に反映させ、教育の質保証に努めている。

短期大学名称変更に伴い「吉備国際大学短期大学部自己点検・自己評価委員会規程」を定め、その際行われた組織改編により、同委員会は吉備国際大学教育開発・研究推進中核センターの下部組織となっている。移行後数年間は、短期大学としての自己点検・自己評価活動が停滞し、報告書作成等が行われていなかったが、平成25年度に、自己点検・自己評価委員会、専攻主任会議等が明確化され、活動を推進している。今回の自己点検・評価報告書は、本協会の自己点検・評価報告書作成マニュアル指定の記載分量より少なく、記述において分かりやすさに欠ける部分があった。

## 基準Ⅱ 教育課程と学生支援

保健科各専攻課程は人材養成の目的に沿った学位授与の方針を明確に定めている。卒業の要件、成績評価の基準及び資格取得の要件等を明示し、学生便覧等により学内外に公表している。定期的な点検が行われ、平成 25 年度に教養教育科目と専門教育科目を大幅に見直し、秋季入学のための Semester 制を導入している。

教育課程編成・実施の方針は学位授与の方針に基づき、学習成果に対応した授業科目を体系的に編成している。シラバスは整備され、Web 支援システム (UNIVERSAL PASSPORT) でいつでも閲覧・確認することができる。教員の配置は適正であり、教育課程の見直しは、自己点検・自己評価委員会や吉備国際大学教育開発・研究推進中核センターの会議で行い、改善に取り組んでいる。

学生募集要項に学科・各専攻課程の入学受入れの方針を明示し、入学前の学習成果の把握・評価に努めている。学習成果の査定は明確であり、具体的で達成可能であり、実質的な価値を有している。

学習成果の獲得に向けて、FD 委員会を中心に授業改善活動 (FD) の取り組みが行われている。教員は、学生授業アンケートの結果等により、学習成果の状況を把握し、授業改善に努めている。事務職員は、学習成果の獲得に向けて支援を行い、SD 活動を行っている。岡山駅前キャンパスには、学生が自習できる図書室やラーニングサポートセンターを設けているが、図書館等の施設は高梁キャンパスを本拠としており、岡山駅前キャンパスで学ぶ学生にとって必ずしも利用しやすい環境が整備されているとはいえない。事務職員の配置を含め、岡山駅前キャンパスで学ぶ学生のための学生支援環境の整備が望まれる。

学習支援については、入学前学部・学科説明会、オリエンテーション等で説明・指導し、チューター制による個人指導等の学習支援に取り組んでいる。学習成果の獲得に向けて、学生便覧の配布や Web 支援システムの開設、基礎学力が不足する学生には、専任教員による授業時間以外に補講を行っている。生活支援については、教員とスチューデントサポートセンター、順正学園健康管理センターが連携を取りながら健康や生活に関する指導を行い、独自の奨学金制度を用意して、組織的な支援体制が整えられている。学友会等の学生の自主的活動として、理事長・学長との意見交換会へ参加している。毎年の学園祭でのネイルアートやハンドトリートメント、特殊メイク等の学科の特性を生かした学びの成果を発表している。

就職支援については、キャリアサポートセンターを設置するとともに、短大キャリアサポート委員会を組織し就職支援を行っている。進路調査やチューターによる個人面接、資格取得のための個別指導や専門講師による対策講座等を開設し、就職希望者の内定率が高く成果をあげている。

入学受入れのための事務体制が整備され、適切に対応している。入試広報室が入試委員会を主宰し、入試計画を立案して多様な入試を実施している。

## 基準Ⅲ 教育資源と財的資源



保健科各専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいた教員の配置が行われ、教員組織は短期大学設置基準を満たしている。実技系科目の多くを非常勤教員が担当しており、意思疎通を図るため、教育内容の伝達や学生指導上の情報共有化を行う体制が整えられている。

専任教員は、各専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて教育研究活動を行い、研究活動の報告は平成 24 年度より公開されている。順正学園学術交流コンファレンスにおいて、教員個々の教育研究活動を発表する取り組みが行われている。併設大学と共同の FD 研究会や自己点検評価委員会総会を開催し、FD 活動に取り組み、教育能力の向上に努めている。なお、専任教員の個人研究室は高梁キャンパスにあるが、ほとんどの授業が岡山駅前キャンパスで行われているため、岡山駅前キャンパスの共同の教員室が研究室の代わりとなっているので、教育研究環境の整備が望まれる。

事務組織規程が定められ、各部署の分掌に基づき執務が行われ、責任体制は明確である。事務職員は、外部研修や SD 活動に参加し、授業環境改善や学生の実態把握等の学習支援が行われている。教職員の就業に関する諸規程も整備されており、これらの規程は、学内ポータルサイト（ガルーン）により教職員への周知が図られ、適正に運用されている。

校地、校舎の面積は、短期大学設置基準を充足しており、障がい者に配慮した環境整備が行われている。図書館等の施設は高梁キャンパスを本拠としており、岡山駅前キャンパスで学ぶ学生にとって必ずしも利用しやすい環境が整備されているとはいえ、教育環境の整備が望まれる。施設整備の維持管理に関する諸規程を整備し、それらの規程に基づき適切に運用されている。火災・地震への対策については、規程を整備し災害対応マニュアルを作成することにより、防災対策を実施している。また、情報システム課を設置し、コンピュータのセキュリティ等の情報安全管理を行っている。省エネルギー対策として、平成 26 年 3 月まで「エコアクション 21 活動」に参加し、現在は新たな環境マネジメントシステムにおけるエコ活動に取り組んでいる。

教学事務システム (GAKUEN・UNIVERSAL PASSPORT) を統合・リニューアルして、学生の情報を教職員が一体化して管理し、速やかな情報共有が可能となっている。また、ラーニングサポートセンター内には、学生の共用スペースにインターネットに接続できるパソコンを配置し、自由に利用できる環境を整備して、学習成果の獲得のための支援を行っている。

入学者数の減少にともない、帰属収支が支出超過となる状況が続いているなどの事態を踏まえ、平成 27 年度に短期大学部の学生募集を停止することが決定している。学校法人全体では、財政状態は良好であり、在学生に係る教育の支出については問題なく執行できる財政状況である。

#### 基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は、建学の理念及び教育目的を十分に理解し、教育に深い見識を有しており、理事会での提案説明を自ら行うなどリーダーシップを発揮している。

理事会は、学校法人の意思決定機関として、寄附行為に従って開催され、その審議に基づき事業が執行されている。決定事項は、教職員に丁寧な説明がなされており、学校法人

の方向性についての共通理解が図られている。

学長は、「吉備国際大学短期大学部学長選任規程」に基づき選考され、建学の理念に基づいて教育研究活動の基本方針を立て事業計画に反映させている。教授会は、学則及び教授会規程に従って適切に運営され、議事録が整備されている。

監査室が設置され、監事 2 人が選任され、内 1 人が常勤者である。監事は、理事会、評議員会への出席のほか学園協議会にも出席し、公認会計士と連携し意見交換を行っている。毎会計年度末、監事は学校法人の業務及び財産の状況を監査し、当該会計年度終了後 2 月以内に監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に提出している。

評議員会は、理事定数の 2 倍を超える評議員で構成され、予算、借入金及び重要な資産処分に関する事項などについては寄附行為に基づいて理事長があらかじめ評議員会の意見を聞き、理事会で議決されている。

各部門が単年度の事業計画を策定するとともに予算を立案し、事業計画及び予算は、毎年 3 月に開催される評議員会に意見を求めた上で理事会で議決され、適切に執行されており、日常的な出納業務も適切に行われている。学園の計算書類及び財産目録は学校法人の経営状況及び財政状態を適正に表示しており、教育情報及び財務情報はウェブサイトで、公表されている。

## 選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

## 地域貢献の取り組みについて

### 総評

当該短期大学の学科・専攻課程の特色を生かして、地域社会に向けた多様な取り組みを実施し、現在は、併設大学と共同で地域貢献活動に取り組んでいる。その代表的なものとして、岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」があり、当該短期大学は「大学院コース」の7講座のうち3講座を担当している。平成24年度は「大学院コース・健康と福祉」の分野において、保健科デンタルビューティー専攻が歯科保健に関する講座を担当し、平成25年度は「大学院コース・社会と暮らし」の分野において、保健科総合美容専攻が、美容と健康に関する講座を担当している。

地域社会の文化団体や教育機関、行政との交流については、地域の動物園において歯みがき教室を開催し、ゾウやチンパンジーの歯みがき等子どもが親しみやすい題材を用い、動物との触れ合いにより「命」の大切さを学び、歯科衛生の大切さを指導している。

また、小学校や幼稚園や保育所、高等学校における歯科健康教育に取り組んでおり、対象者の歯科保健の向上を図るとともに、参加した学生の指導力の向上を目指して実施している。高梁市介護予防事業の一環として、「美容や癒しの力で高齢者に元気を与えてほしい」との要請を受け、介護予防教室において教員の指導の下、学生を中心にアロマハンドトリートメントとネイル等を実施している。

学園が地方自治体と協定を締結し、高齢者や福祉担当者、一般の市民などを対象として、地域における美容と癒しの講座を行っている。美容と癒しと福祉に関する知識とスキルを活用して、エステティック（フェイシャル）やネイルやハンドトリートメント等を実施している。

教職員や学生のボランティア活動については、学園がボランティアセンターを設置し活動を支援している。保健科総合美容専攻の教員と学生は、エステティックやネイルなどの癒しの技法を活用した活動を行っている。具体的には、乳癌術後患者の会や高齢者施設（デイケア施設、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、ユニット型介護老人保健施設、ケアハウスなど）でのハンドトリートメント等によるボランティア活動を行い地域に貢献してきた。学生のボランティア活動を支援し促進するために、平成25年度の教育課程改訂により、新たに「ボランティア演習」科目を設置し、授業として開講している。

### 当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 当該短期大学は、「学生一人ひとりの持つ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」の建学の理念に基づき、ボランティア活動を重視し、単位化している。岡山県生涯学習大学、各種教育機関、自治体や施設等において、学科・専攻課程の特色を生かした多様な取り組みを実施し、地域に貢献している。